

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 197

エントリー学校名： 福岡県 北九州市立石峯中学校

活動名：【主タイトル】学力向上と学習習慣の定着 【副タイトル】全校体制で取り組む学力向上大作戦

解決すべき課題：授業改善と学力定着が切り離されて捉えられ、取組が教科担当任せになっている。

本校は、昨年度までの 3 年間、主体的・対話的で深い学びを実現すべく、授業改善に努めてきた。しかし、

①学力が十分に定着していない生徒がいる②家庭学習の習慣がついていない生徒がいる③補充学習への取組状況が各教科担当教員任せで、頻度や方法に差があるといった課題が見られる。

目標・方針：【目標】全校体制で学力向上策に取り組み、学力向上と学習習慣の定着を図る。

＜方針＞①学力向上の取組を、授業改善と補充学習の両輪で捉える。

②教員・生徒の共通理解・共通行動のもと、全校体制で実施する。

活動内容：①朝自習…毎朝 1 0 分プリント学習。1 週間同教科。5 週で国社数理英が一巡【資料 1 上】

②放課後石峯タイム…毎日放課後 1 0 分、朝自習プリントの定着度を測るため同じ問題か類題に取り組む。合格ラインを設定し、合格は下校。不合格は再度同じ問題に挑戦【資料 1 下】

③ステップアップノート（通称：SUN）…自学ノート。朝・放課後のプリントと同じ教科。イメージをもてるように、昇降口・廊下や学力向上通信に好事例を掲示【資料 2 ①～③】

④授業祭…生徒は、生徒会や各委員会で学習規律や家庭学習の目標を立てて実施【資料 3】
教員は、授業スキル向上のための互見授業を実施【資料 4】

⑤放課後ひまわり学習塾…希望者向けに補充学習教室を毎日実施【資料 5】

活動の成果：

① 全校体制で学力向上策に取り組むことができた。 授業祭では、主体的・対話的で深い学びが授業で実現できるように、生徒は生徒会中心に目標を設定、教師は互見授業の設定を行うなど、学校全体で授業改善に取り組めた。補充学習では、全校体制で取り組む体制が構築できた。

② 学力向上が図られた。 希望者対象のひまわり学習塾に、開催回数の半分以上参加した生徒の定期考査の偏差値が、前期中間（7 月中旬）と前期期末（9 月下旬）で比べると平均 2.4 ポイント上昇した。

③ 学習習慣の定着が図られた。 毎日自主学習に取り組むことで、家庭で 1 時間以上学習する割合が昨年度 1 月 37%から今年度 7 月 66%に増加した。さらに、自分に合う学習方法を身に付けた姿も見られた。

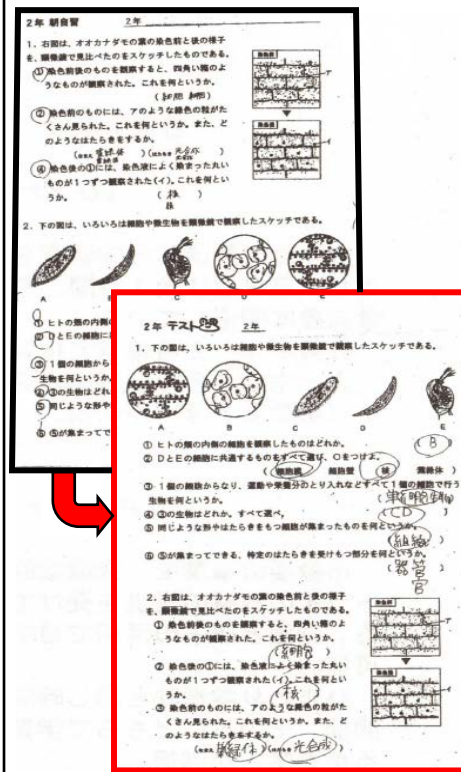
アピールポイント（アイデアや工夫）：

① 学力向上に向けた全校体制の構築 補充学習の担当者と時間を明確にしたことで、全職員が輪番で行うことが可能となり、担任や教科担当の教材準備や学習指導の負担を軽減することができた。

② 通常学級で学習に困り感をもつ生徒へ具体的な支援を実施 各種調査結果を基に生徒の実態を把握したことで、通常学級で学習に困り感をもつ生徒がクローズアップされ、「認知トレーニング（コグトレ）」の研究・導入などの支援策が推進された。

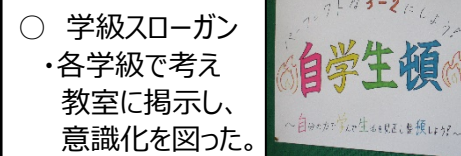
③ ボトムアップで取組を推進したことによる人材育成 学力向上委員会のメンバーに、経験年数 1 0 年未満の若年者やミドルリーダーを任命し、課題と、それに対する取組をボトムアップで提案させた。生徒の現状を分析し、より効果的な方法を見いだすために意見を交わすことで、授業や補充学習を進める上でのポイントを学ぶことができ、人材育成につながった。

【資料 1】朝自習プリント（上）と、放課後石峯タイムプリント（下）



【資料 3】授業祭：生徒の取組

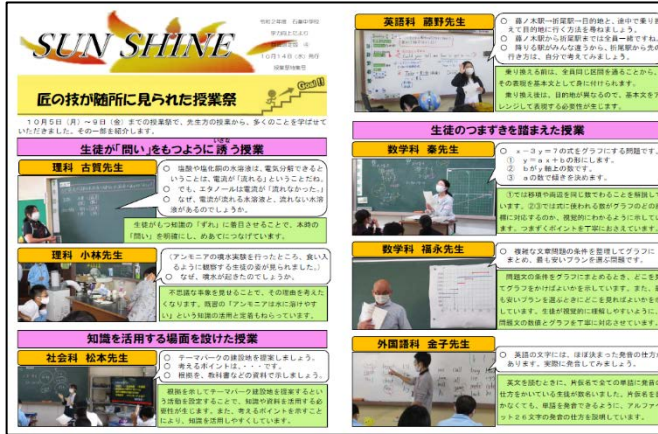
- 生徒会・各委員会で立てた目標
- ・ 1 分前着席 ・机、ロッカーの整頓
- ・ S U N 提出状況 など



- 取組結果のフィードバック
- ・ 学級ごとの結果を伝達・表彰

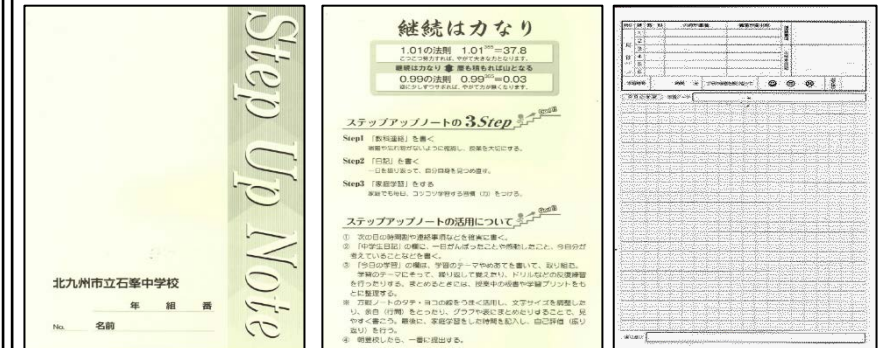
【資料 4】授業祭：教員の取組

- 互見授業…参観者は授業者へ感想を伝達。

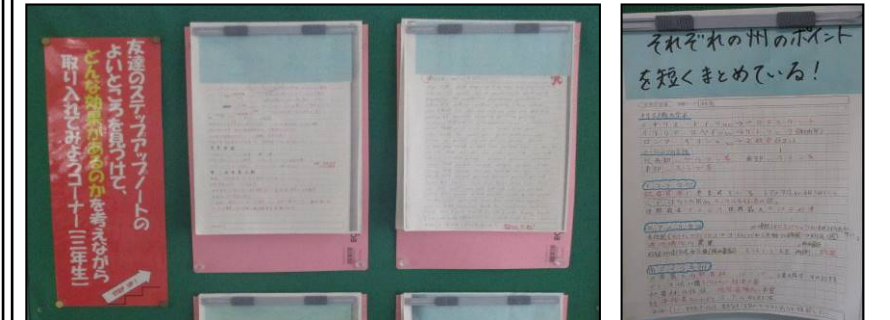


【資料 2】Step Up Note（SUN）

① SUN の表紙・裏表紙・中身（A 4 判冊子）



② 昇降口・廊下に SUN コーナーをつくり、好事例を価値付けて掲示



③ ミドルリーダーが輪番で発行する学力向上通信で全校に発信



【資料 5】放課後ひまわり学習塾

- 毎日放課後 1 時間、希望者に補充学習実施。教員が 1 ～ 2 名輪番で指導。火・木は 5 名の学習指導員（市教委予算）来校。
- 認知トレーニング（コグトレ）を冒頭 5 分実施。
- つまずきにに応じた指導ができ、開催回数の半分以上出席した生徒の定期考査の偏差値が、平均 2.4 ポイント上昇した。

